

平成24年度各分野事務局等施策運営目標の設定（案）について

1 平成24年度の各分野等の施策運営目標の項目

- 危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西をめざす 1
- アジアの文化観光首都としての地位を築く 2
- アジアの文化観光首都「KANSAI」の一翼を担う山陰海岸ジオパークを目指す 4
- 世界に開かれた西日本の経済拠点“関西”を目指す 5
- 安全・安心の医療圏「関西」の実現 6
- 地球環境問題に対応し、持続可能な社会を実現する関西 9
- 資格試験・免許事務を集約し、一元的な実施・管理により効率化を図る 12
- 広域職員研修の実施 13
- 関西全体の広域行政を担う責任体制を確立する（国出先機関対策） 14
- 関西圏のポテンシャルを高め、我が国双眼の一翼を担う（広域インフラ検討） 15
- 原発への過度の依存を見直し、新たなエネルギー社会の構築を目指す（新エネルギー対策） . . . 16
- 首都中枢機能バックアップ構造を関西に構築する（首都機能バックアップ検討） 17

2 今後の予定

- 平成24年5月：総務常任委員会に報告し、連合HPで公開

広域防災分野に係る施策運営目標

広域防災担当委員：井戸 敏三

<p>目指すべき将来像</p>	<p>◆危機に強く、防災・減災のモデルとなる関西をめざす ○構成府県の防災に係る資源を活用し、そのネットワーク化を図ることにより、関西全体の安全・安心を向上させ、国内のみならず世界の防災・減災モデル“関西”をめざす。</p>
-----------------	---

<p>施策運営目標 1</p>	<p>世界の防災・減災モデル“関西”の推進</p>	<p>進捗・達成状況（中間・最終）</p>	
<p>目標 （その実現に向けて今年度何をするのか）</p>	<p>(1) 関西防災・減災プランの策定及びフォローアップ (2) 災害時の広域応援・受援体制の構築 (3) 関西広域応援訓練の実施 (4) 救援物資の備蓄等の検討・実施 (5) 防災分野の人材育成 (6) 広域防災に関する調査研究</p>		<p>評価／今後の対応等</p>
<p>アウトプット （具体的にどのような事業を行うのか）</p>	<p>(1) 「地震・津波災害対策編」及び「原子力災害対策編」を改定するとともに、「風水害対策編」及び「感染症対策編」の作成に着手 (2) 関西広域応援・受援実施要綱の策定 (3) 広域災害に対する体制の強化を図るため、関西が一体となった訓練の実施 (4) 備蓄計画、物資集積配送マニュアルの作成 (5) 防災研究・研修機関等の実施する研修に構成団体の職員が参加する等、計画的な人材育成を行う (6) 関西における広域防災に関する諸課題の解決に向け、調査研究を行う</p>		
<p>アウトカム（5分野のみ） （その事業を取組むことにより、府県民生活の何がどう改善するのか）</p>	<p>○構成団体及び連携県の防災・危機管理能力向上 ○構成団体及び連携県の住民の防災・減災能力の向上を通じた関西全体の安全・安心の推進</p>		

広域観光・文化振興分野に係る施策運営目標

広域観光・文化振興担当委員：山田 啓二

<p>目指すべき将来像</p>	<p>◆アジアの文化観光首都としての地位を築く ○海外との国際観光の地域間競争が激化する中、歴史・文化をはじめ、産業経済の先端的集積、多様な自然など魅力ある観光資源を活かしアジアを代表する文化観光首都としての地位を確固たるものとし、さらには、世界に向けてKANSAIブランドの浸透を目指す。</p>
-----------------	---

<p>施策運営目標 1</p>	<p>関西への訪問外国人客数について年間 1,000 万人を目指す</p>	<p>進捗・達成状況（中間・最終）</p>	<p>評価／今後の対応等</p>
<p>目標 （その実現に向けて今年度何をするのか）</p>	<p>(1) KANSAIブランドの構築等 ・関西の観光資源をテーマやストーリーで面的に結び、海外プロモーション等でその魅力を発信する。 ・2013 年を「KANSAI 国際観光 YEAR」と位置づけ、関西を世界に売り込むための取り組みを進める。 ・関西文化の継承・発展と誘客を図るため、文化芸術資源をつなぐ「文化の道」事業を実施する。</p> <p>(2) 基盤等の整備 ・国際観光 YEAR等の取り組みを通じ、インバウンド推進に欠かせない官民連携についての一層の推進を図る。</p>		
<p>アウトプット （具体的にどのような事業を行うのか）</p>	<p>(1) KANSAIブランドの構築等 ・中国へのトッププロモーションを実施し、安心・安全な関西観光の理解促進を図るとともに、関西の魅力を 8つのテーマで面的にアピールする。 ・国際観光 YEARについて、構成府県や民間とも連携し関西全域で取り組めるテーマを設定。東アジアを中心に旅行社・メディア等延べ 100 社への PR活動を展開する。 ・『人形浄瑠璃』をテーマに、文化庁関西分室とも協力して関係団体が交流する事業を実施し、関西で生まれ全国に広まった関西の文化をアピールする。</p>		

	<p>(2) 基盤等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際観光Y E A Rの取り組みに際して、官民の関係団体の結集を図り、今後のインバウンド推進において、一つのモデルともなるよう、官民連携の推進体制を構築する。 		
<p>アウトカム（5分野のみ）（その事業を取組むことにより、府県民生活の何がどう改善するのか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際観光を推進することでの経済効果＝訪日外国人旅行消費額(㊸日本全体で1.2兆円)の増加 ・人と人との交流が活発化することで、国際理解が深まるとともに、異文化との出会いが地域の魅力の再発見につながる。 		

広域観光・文化振興分野(山陰海岸ジオパーク推進)に係る施策運営目標

広域観光・文化振興局 山陰海岸ジオパーク推進担当委員：平井 伸治

目指すべき将来像	<p>◆アジアの文化観光首都「KANSAI」の一翼を担う山陰海岸ジオパークを目指す</p> <p>○山陰海岸ジオパークの観光の魅力を発信し、国内外からの観光交流の活性化の取り組みを推進する。</p>
----------	---

施策運営目標 1	山陰海岸ジオパークの魅力を活用した広域観光振興	進捗・達成状況（中間・最終）	評価／今後の対応等		
目標 （その実現に向けて今年度何をするのか）	(1) 山陰海岸ジオパークの認知度向上 海外トッププロモーションや国内外におけるキャンペーン、ウェブサイトなどによるPR活動を行う。				
	(2) 広域観光連携の推進 ジオパークエリア内の地域資源の磨き上げや、府県を越え広域的に観光誘客イベント等を実施する。				
アウトプット （具体的にどのような事業を行うのか）	(1) ジオパークを含む関西の観光資源をテーマやストーリーで面的に結び、海外プロモーション等でその魅力を発信するほか、国際会議の誘致活動等を実施する。				
	(2) 観光ルートマップの作成や広域スタンプラリーの実施、観光列車の運行など、広域観光を促進するための取り組みを実施する。				
	<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td style="width: 10%;">予算額</td> <td style="width: 10%;">1,000千円</td> </tr> </table>	予算額	1,000千円		
予算額	1,000千円				
アウトカム（5分野のみ） （その事業を取組むことにより、府県民生活の何がどう改善するのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客数の増大による地域の活性化 ・府県境を越えての経済・観光交流の促進 ・地域の魅力や誇りの再発見 				

広域産業振興分野に係る施策運営目標

広域産業振興担当委員：松井 一郎

目指すべき将来像	<p>◆グローバル化に伴う地域間競争に打ち勝つため、構成団体の強みを束ね、弱みを補うことにより、関西全体で「人・モノ・情報」の流動化を図り、世界に開かれた西日本の経済拠点“関西”を目指す。</p> <p>○関西のもつ産業集積・インフラ、人材等のポテンシャルを生かして、関西全体の活性化と国際競争力を強化していく。</p>
----------	--

施策運営目標 1	関西広域産業ビジョン2011の推進	進捗・達成状況（中間・最終）			
目標 （その実現に向けて今年度何をするのか）	(1) 関西広域産業ビジョン2011の広報・推進管理		評価／今後の対応等		
	(2) イノベーション創出環境・機能の強化				
	(3) 中堅・中小企業等の国際競争力の強化				
	(4) 地域経済の戦略的活性化				
	(5) 高度人材の育成・確保				
アウトプット （具体的にどのような事業を行うのか）	(1) 関西広域産業ビジョン2011に基づく事業化の評価・検証や事業の進捗管理、国内外へのビジョンの広報推進				
	(2) 関西の優れた大学等研究機関、企業、支援機関等が集積した産業クラスターの連携や、科学技術基盤の活用促進				
	(3) 国内外での合同プロモーションやビジネスマッチング、公設試験研究機関の連携推進				
	(4) 「関西ブランド」のプロモーションや新商品調達認定制度によるベンチャー支援の実施				
	(5) 高度産業人材の育成・確保に向けた検討の実施				
	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 10%;">予算額</td> <td style="width: 10%;">27,854 千円</td> </tr> </table>	予算額	27,854 千円		
予算額	27,854 千円				
アウトカム（5分野のみ） （その事業を取組むことにより、府県民生活の何がどう改善するのか）	上記事業について、関西広域産業ビジョン2011に基づき、各構成団体や産学をはじめとした関係機関と役割分担と密接な連携を行い、シナジー効果を発揮することで関西経済の活性化に結び付けていく。				

広域医療分野に係る施策運営目標

広域医療担当委員：飯泉 嘉門

目指すべき将来像	<p>◆安全・安心の医療圏「関西」の実現</p> <p>○いつでも、どこでも安心医療「関西」（広域的ドクターヘリの運航体制が構築され、誰もが安心して救急医療を受けられる体制の整備）</p> <p>○ひろがる安心医療ネットワーク「関西」（病院間連携の促進により、高度専門医療を誰もが受けられる体制の整備）</p> <p>○「助かる命を助ける」しっかり医療「関西」（被災地において迅速かつ的確に医療を提供できる体制の整備）</p>
----------	---

施策運営目標 1	「関西広域救急医療連携計画」の推進	進捗・達成状況（中間・最終）	評価／今後の対応等		
目標 （その実現に向けて今年度何をやるのか）	(1) 計画に位置付けた施策や取組目標について、府県民の目線に立った客観的な評価のもと適切な進行管理を行う。				
	(2) 本計画を「進化・成長する計画」とするため、府県域を越えた新たな概念となる「4次医療圏・関西」の構築に向けた新たな取り組みの検討を行う。				
アウトプット （具体的にどのような事業を行うのか）	(1) 計画の適切な進行管理を行う第三者機関の設置 ・関西広域救急医療連携計画推進委員会の設置・開催 （②推進委員会の設置・開催）				
	(2) 新たな連携課題の検討 ・脳疾患、心臓疾患など高度専門医療分野における広域医療連携のあり方を検討（②検討）				
	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">予算額</td> <td style="width: 10%;">1, 498千円</td> </tr> </table>	予算額	1, 498千円		
予算額	1, 498千円				
アウトカム（5分野のみ）（その事業を取組むことにより、府県民生活の何がどう改善するのか）	広域的なドクターヘリの運航体制や災害時における広域医療連携体制が構築されることにより、関西全体に二重・三重のセーフティネットが構築され、どこでも、誰もが安心して救急医療を受けられる環境が整備される				

広域医療分野に係る施策運営目標

広域医療担当委員：飯泉 嘉門

施策運営目標 2	ドクターヘリを活用した広域救急医療体制の充実	進捗・達成状況（中間・最終）		
目標 （その実現に向けて今年度何をするのか）	(1) 広域連合によるドクターヘリの一体的な運航体制の構築に向け、管内ドクターヘリの広域連合への事業移管を進めるとともに、新たな地域への運航拡大に取り組む。		評価／今後の対応等	
	(2) 重複要請時や多数の傷病者が発生した場合等において、複数のヘリが補完し合う相互応援体制の構築を行う。			
アウトプット （具体的にどのような事業を行うのか）	(1) 広域的ドクターヘリの運航体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・豊岡病院を基地病院とするドクターヘリ事業の推進 ・大阪府及び徳島県ドクターヘリ事業の広域連合への移管に向けた関係機関との協議等（㊤広域連合への事業移管） ・広域連合への事業移管に備えて、「京都府南部」及び「徳島県、淡路島」へ運航拡大（㊤運航拡大） ・管内の安全・安心の確保に向けた「場外離着陸場」の更なる確保（㊤約 1,400 箇所 → ㊤約 1,800 箇所） ・管内基地病院と連携した「ドクターヘリ搭乗医師・看護師養成プログラム」の整備（㊤研修プログラムの企画・整備） 			
	(2) 重複要請時における相互応援体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・相互応援体制の構築に向け、関係府県や基地病院など関係機関と所要の協議・調整を進める（㊤相互応援体制の構築） 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">予算額</td> <td style="text-align: center;">213,324千円</td> </tr> </table>	予算額	213,324千円
予算額	213,324千円			
アウトカム（5分野のみ） （その事業を取組むことにより、府県民生活の何がどう改善するのか）	関西全体にドクターヘリを活用した救急医療体制が構築されることにより、救急要請から治療開始までの時間が短縮され、救命率の向上や後遺症の軽減が図られるなど、府県民の「安全・安心」が高まることが期待される			

広域医療分野に係る施策運営目標

広域医療担当委員：飯泉 嘉門

施策運営目標 3	災害時における広域医療体制の整備・充実	進捗・達成状況（中間・最終）			
目標 （その実現に向けて今年度何をするのか）	(1) 災害時の医療支援活動が迅速かつ円滑に行えるよう、広域連合及び構成府県間の情報伝達体制や具体の行動マニュアルを整備する。		評価／今後の対応等		
	(2) 三連動地震をはじめ大規模災害の発生に備え、災害時の医療提供体制の整備・充実を図るとともに、各府県DMA Tやドクターヘリ等と連携した災害医療訓練を実施する。				
アウトプット （具体的にどのような事業を行うのか）	(1) 災害時における医療連携マニュアルの策定 ・災害時における「広域医療局」並びに「構成府県」間の連絡体制や役割を定めた「災害医療連携マニュアル」の策定 (㊦マニュアル策定)				
	(2) 災害時における医療提供体制の整備・充実 ・被災地医療を統括・調整する「災害時医療調整チーム（仮称）」の整備 (㊦全ての構成府県で整備) ・各府県における被災地医療を統括・調整する組織の中心的役割を担う「リーダー人材」を対象とした合同研修を実施 (㊦合同研修の実施) ・近畿府県合同防災訓練と連携した「災害医療訓練」の実施 (㊦訓練実施)				
アウトカム（5分野のみ） （その事業を取組むことにより、府県民生活の何がどう改善するのか）	災害発生時において、迅速かつ円滑な初動対応が図られるとともに、被災地外からの広域的な支援を適切に受援できる体制が構築されることにより、被災地においても急性期中長期にわたり必要な医療サービスを受けられるようになる。				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">予算額</td> <td style="text-align: center;">9 1 6 千円</td> </tr> </table>	予算額	9 1 6 千円		
予算額	9 1 6 千円				